

### Q 水の文化村を改修し、観光の拠点にするべきだ

A 市の考え方をまとめる時期に近づいている

### 手嶋 栄治 議員

- 質問項目
- 1 水の文化村について
  - 2 畜産団地跡地について
  - 3 小石原川ダム、寺内ダムと佐田川との関連について
  - 4 再生可能エネルギーについて
  - 5 朝農跡地について
  - 6 遠距離通学について



Q 小石原川ダムの建設が進み、将来の観光ルートを考える中で、水の文化村はその拠点とならなくてはならないのだが、今の状況では物足りない。人が集う場所として、改修などを行い、宝の持ちぐされにならないようにしていただきたい。

A 水の館自体は県有の施設なので、本来ならば設備の更新等も県でやってほしいというのが正直な気持ちである。県との種々の約束事を踏まえ、市としての考え方をまとめる時期に近づいていると認識している。

Q スポーツ広場のグラウンドは野球などで賑わっている。排水施設やナイター施設の整備をお願いしたい。

A 排水施設は、内部で協議をしながら整備しなければならぬというところは考えている。ナイター施設については、周辺に理解をとつたり、朝倉市の全体的な夜間のスポーツ施設等のバランスの中で考えていかなければならないことなので、検討するというようにとどめさせていただきたい。

Q 畜産団地跡地にポラントピア団体が植栽されている

A 本来、市がやるべきことについて協力していただいている。防護柵等の助成はできないのか。

Q 水の文化村と畜産団地跡地は一体となって考えていく必要がある。今後の活用方法は。

A 公共事業による発生土を搬入し、敷地内の園路、駐車場及び市道の離合場所等を整備するように計画している。



観光の拠点に

Q この溝渠は地元も非常に関心があるが、危険な箇所だけでも早めに（来年）工事にかかれぬか。

A 事前調査で1年、実施設計に1年、その後工事となる見込みだが、今から県に相談するので来年度は難しい。まだ、どの事業で

するか不明なので、県と相談し、どの事業に該当するかを決めたい。

Q 筑前町は、「何らかの事業により、結果として宮入員対策、側溝を改修しているため、地元負担という考え方は無い」という回答だが、筑前町と同じ対応ができないか。

A 地元負担なしというのが一番望ましいだろうが、方策を色々工夫、研究したい。

### ふるさと納税について

Q ふるさと納税について、過去数年の納税額は。

A 平成24年度19万円。平成25年度32万9000円である。

Q 朝倉市は今後、総合体育施設、新庁舎建設等を抱えており、ふるさと納税を活用して、もっと収入を増

やす努力をすべきでは。

A 朝倉市は、朝倉農業高校跡の開発、郷土館建設計画があり、これを全面的に出し、賛同する市外の方から寄附金をいただく等、また過去に造った平塚川添遺跡等、維持費が一般財源で非常にお金が掛かる事も発信し、寄附をお願いするべきだと考える。



朝倉市の特産品をふるさと納税で全国へ広めよう

### Q 宮入員対策で作られた溝渠について 調査後の概要は

A 馬田校区内水路延長18km、総工事費約5億8千万円

### 鹿毛 哲也 議員

- 質問項目
- 1 宮入員対策で作られた溝渠について
  - 2 朝倉市環境美化推進条例の改正について
  - 3 ふるさと納税について
  - 4 賞罰審議会について



Q ドアツードア方式の乗り合いバスの導入を

A 利便性があるように順次変更を検討していきたい

村上 百合子 議員

質問項目

- 1 公共交通乗り合いデマンドバスについて
2 肺炎球菌ワクチン接種について
3 胃がん対策について



Q 人口減少、高齢化の進行する中で、住んで安心と思っただけの対策が重要だ。交通空白地の市民の生活を守るための公共交通乗り合いデマンドバスの運行は、利用者や高齢者のニーズに対応されているのか。

A デマンドバスを将来的に

に持続可能な公共交通として、経済性と福祉の両面から推進するために、利用者アンケート調査やコミュニティ・活性化協議等の協議の中で改善に努めている。

Q 八女市の地域公共交通「ふる里タクシー」を視察してきたが、過疎対策事業債を財源として「ドアツードア方式」で運行している。「重い荷物や買い物をして、バス停から家まで遠過ぎて利用できない」との高齢者の声に応え「ドアツードア方式乗り合いバス」の導入をして頂きたい。

A 市民の改善要望を的確に把握し、もっと便利になるように順次変更を検討していきたい。

朝倉市の活性化について

Q 西鉄バスと協議・理解を早急に進めて、中心市街

地にふさわしいバス停への改善をお願いする。

A 住民の利便性のために、協議を進めていきたい。

肺炎球菌ワクチン接種は高齢者を対象に

Q 65歳から5歳刻みの対策では、高齢者の肺炎予防は不十分である。全高齢者を対象にした接種助成に取り組んでいただきたい。

A 当面、国の基準で行い状況を見て取り組みたい。



買い物しても安心な「ドアツードア方式」乗り合いバス

半田 雄三 議員

質問項目

- 1 教育現場におけるスマートフォン等に係る問題について
2 学校スポーツのあり方について
3 今後の三連水車の位置づけを考える
4 災害時の避難所のあり方
5 認知症高齢者の見守りについて



Q 市内に6校の中学校があるのに、一番人気のサッカー部がない事をどう思うか。

A サッカー部を発足させるにはグラウンド・指導者の問題等により難しい。

Q 学校単位で考えればそうなるが、6校の中学校区

を取り払うとか、市全体で考え、部活を6校に適正配置し、「学校選択制」を含めてやりたいスポーツを続けられる環境を整えてあげよう、何らかの形で検討していただきたい。

A 隣の学校との合同チームで中体連の大会参加可能な仕組みが完成しつつある。学校選択制の導入となれば、諸々の条件等も整備をしていかなければならない。

三連水車について

Q 今現在、市にとって「三連水車」はどのような位置づけにあるのか。

A 実働する伝統的な農業施設であり、後世へ引き継いでいかなければならないという認識である。

Q 重要な観光資源でもある三連水車の存続に、農業施設としての組合員である

農家は負担増により苦しまれており、ポンプによる揚水の話すら始めている。そうならないと、水車を残しても価値はなくなってしまう。市としてもそうならないよう、より積極的に関与していただきたい。

A ぜひ現役のかんがい施設として残していただくよう、山田堰土地改良区とも十分な連携をとって協議をし、市内部でも負担軽減を図るためにも、何らかの知恵を絞って協力をさせていただきます。

Q 中学校にサッカー部を作れないか

A グラウンド・指導者の問題等により難しい



900人参加のスポーツ少年団交流大会